

資料1 分析結果（場内浸透水）

場内浸透水													
調査地点	H16-No. 5					No. 1揚水井戸							
採取日	H26. 6. 30	H26. 10. 2	H26. 12. 8	H27. 2. 20	年間平均値	H26. 6. 30	H26. 10. 2	H26. 12. 8	H27. 2. 20	年間平均値			
現場測定項目	浸透水	浸透水	浸透水	浸透水		浸透水	浸透水	浸透水	浸透水				
気温（℃）	30.0	26.5	10.0	7.0		31.0	26.0	10.5	7.0				
水温（℃）	24.5	23.9	22.3	22.0		20.9	21.4	20.7	20.0				
採水水深（m）（GLより）	22.07	22.13	22.25	22.20		17.66	18.92	19.03	18.93				
分析結果					分析結果						* 安定型最終処分場の浸透水の基準	地下水環境基準	
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析			
pH	7.1	7.1	7.1	7.2	7.1	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	—		
BOD (mg/L)	13	23	15	6.9	14	1.0	8.8	2.9	2.7	3.9	20mg/L		
COD (mg/L)	26	24	21	20	23	15	14	12	13	14	40mg/L		
SS (mg/L)	6.3	3.3	5.0	2.9	4.4	18	6.4	16	12	13	—		
EC (mS/m)	190	210	200	200	200	170	150	160	150	160	—	—	
カドミウム (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.01mg/L	0.003mg/L	
ヒ素 (mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	0.15	0.053	0.10	0.084	0.097	0.01mg/L	0.01mg/L	
ふっ素 (mg/L)	0.74	0.64	0.79	0.68	0.71	0.36	0.33	0.32	0.36	0.34	—	0.8mg/L	
ほう素 (mg/L)	1.6	1.4	1.4	1.5	1.5	1.3	1.1	1.3	1.1	1.2	—	1mg/L	
鉛 (mg/L)	0.006	0.009	< 0.005	< 0.005	0.006	0.011	0.009	0.007	< 0.005	0.008	0.01mg/L	0.01mg/L	
総水銀 (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	0.0005mg/L	0.0005mg/L	
PCB (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	検出されないこと (<0.005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)	
トリクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.03mg/L	0.01mg/L	
テトラクロロエチレン (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	0.01mg/L	0.01mg/L	
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.02mg/L	0.1mg/L	
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.004	—	0.04mg/L	
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.04mg/L		
トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	—		
ベンゼン (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.01mg/L	0.01mg/L	
塩化ビニルモノマー (mg/L)	0.0007	0.0006	0.0009	0.0005	0.0007	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0003	0.0002	—	0.002mg/L	
1,4-ジオキサン (mg/L)	0.044	0.033	0.023	0.025	0.031	0.007	0.012	0.010	0.015	0.011	—	0.05mg/L	
鉄 (mg/L)	1.4	0.48	0.57	0.62	0.77	2.4	1.0	1.8	2.7	2.0	—	—	
マンガン (mg/L)	0.12	0.15	0.17	0.15	0.15	1.3	0.56	0.50	1.0	0.84	—	—	
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.096	0.042	0.038	0.045	0.055	0.53	0.091	0.61	0.18	0.35	1pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L	

※ pg : mgの十億分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

※ TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロジベンゾ「ダイキシン」)に換算した数値。

※ 採水方法 : 井戸孔内に長期間滞留した水を置換することを目的として、水中ポンプで井戸の孔内水量の4倍量程度汲み上げた後、水質（水温、pH、電気伝導度等）が安定したことを確認してからポンプにて必要量を採取した。

※ 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。なお、平成22年度まではペーラーで採水を実施していたが、採水時に孔内水が乱されることで井戸の底等に堆積した土壌粒子等が巻き上げられ、採水試料に混入することが避けられなかったため、0.45μmメンブランフィルターによりろ過を行い、そのろ液の分析結果を併せて掲載していたが、平成23年度より水中ポンプで採水を実施することで、土壌粒子等の混入を改善することができるようになったことから全量分析結果のみを掲載している。

※ 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。pH、BOD、COD、SS、EC、鉄、マンガンは参考値。なお、PCBの年間平均値欄の値は、すべて「検出されないこと」をもって基準達成となるため、該当する値を表記し、評価した。

※ トリクロロエチレンは、平成26年11月16日まで地下水環境基準は0.03mg/L、平成26年11月17日からは0.01mg/L

資料2 分析結果（周辺地下水[Ks3層、その1]）

K s 3 層 地 下 水												
調査地点	H24-8(2)					H24-S2(2)						
採取日	H26.6.30	H26.10.2	H26.12.8	H27.2.20	年間平均値	H26.6.30	H26.10.2	H26.12.8	H27.2.20	年間平均値		
現場測定項目	Ks3	Ks3	Ks3	Ks3		Ks3	Ks3	Ks3	Ks3			
気温(°C)	26.0	18.8	12.0	7.0		32.0	26.5	—	—			
水温(°C)	19.0	17.7	13.9	13.0		19.1	19.1	—	—			
採水水深(m)(GLより)	4.76	4.70	4.70	4.63		11.46	11.26	—	—			
分析結果					分析結果					*安定型最終処分場の浸透水の基準	地下水環境基準	
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	採水不能	採水不能	全量分析		
pH	6.6	6.1	6.5	5.8	6.3	6.9	7.0	—	—	7.0	—	
BOD (mg/L)	—	—	—	—	—	3.8	4.1	—	—	4.0	20mg/L	
COD (mg/L)	—	—	—	—	—	25	22	—	—	24	40mg/L	
SS (mg/L)	—	—	—	—	—	9.1	13	—	—	11	—	
EC (mS/m)	21	16	20	15	18	160	170	—	—	170	—	—
カドミウム (mg/L)	—	—	—	—	—	< 0.001	< 0.001	—	—	0.001	0.01mg/L	0.003mg/L
ひ素 (mg/L)	—	—	—	—	—	0.033	0.055	—	—	0.044	0.01mg/L	0.01mg/L
ふっ素 (mg/L)	—	—	—	—	—	0.27	0.24	—	—	0.26	—	0.8mg/L
ほう素 (mg/L)	—	—	—	—	—	1.2	1.3	—	—	1.3	—	1mg/L
鉛 (mg/L)	—	—	—	—	—	0.007	0.009	—	—	0.008	0.01mg/L	0.01mg/L
総水銀 (mg/L)	—	—	—	—	—	< 0.0005	< 0.0005	—	—	0.0005	0.0005mg/L	0.0005mg/L
PCB (mg/L)	—	—	—	—	—	< 0.0005	< 0.0005	—	—	< 0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)
トリクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	< 0.002	< 0.002	—	—	0.002	0.03mg/L	0.01mg/L
テトラクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	< 0.0005	< 0.0005	—	—	0.0005	0.01mg/L	0.01mg/L
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	< 0.002	< 0.002	—	—	0.002	0.02mg/L	0.1mg/L
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	< 0.004	< 0.004	—	—	0.004	—	0.04mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	< 0.002	< 0.002	—	—	0.002	0.04mg/L	
トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	—	—	—	—	—	< 0.002	< 0.002	—	—	0.002	—	
ベンゼン (mg/L)	—	—	—	—	—	< 0.001	< 0.001	—	—	0.001	0.01mg/L	0.01mg/L
塩化ビニルモノマー (mg/L)	—	—	—	—	—	< 0.0002	< 0.0002	—	—	0.0002	—	0.002mg/L
1,4-ジオキサン (mg/L)	—	—	—	—	—	0.021	0.021	—	—	0.021	—	0.05mg/L
鉄 (mg/L)	—	—	—	—	—	1.8	3.4	—	—	2.6	—	—
マンガン (mg/L)	—	—	—	—	—	3.0	3.2	—	—	3.1	—	—
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	—	—	—	—	—	0.066	0.025	—	—	0.046	1pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L

※ pg : mgの十億分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

※ TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロジベンゾダイオキシン)に換算した数値。

※ 採水方法 : 井戸孔内に長期間滞留した水を置換することを目的として、水中ポンプで井戸の孔内水量の4倍量程度汲み上げた後、水質(水温、pH、電気伝導度等)が安定したことを確認してからポンプにて必要量を採取した。

※ 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。なお、平成22年度まではペーラーで採水を実施していたが、採水時に孔内水が乱されることで井戸の底等に堆積した土壌粒子等が巻き上げられ、採水試料に混入することが避けられなかったため、0.45μmメンブランフィルターによりろ過を行い、そのろ液の分析結果を併せて掲載していたが、平成23年度より水中ポンプで採水を実施することで、土壌粒子等の混入を改善することができるようになったことから全量分析結果のみを掲載している。

※ 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。pH、BOD、COD、SS、EC、鉄、マンガンは参考値。なお、PCBの年間平均値欄の値は、すべて「検出されないこと」をもって基準達成となるため、該当する値を表記し、評価した。

※ トリクロロエチレンは、平成26年11月16日まで地下水環境基準は0.03mg/L、平成26年11月17日からは0.01mg/L

資料3 分析結果（周辺地下水[Ks3層、その2]）

K s 3 層 地 下 水												
調査地点	H24-2(2)					H24-4(2)						
採取日	H26. 6. 30	H26. 10. 2	H26. 12. 8	H27. 2. 20	年間平均値	H26. 6. 30	H26. 10. 2	H26. 12. 8	H27. 2. 20	年間平均値		
現場測定項目	Ks3	Ks3	Ks3	Ks3		Ks3	Ks3	Ks3	Ks3			
気温 (°C)	24.0	22.5	7.5	8.5		25.0	24.0	4.0	5.0			
水温 (°C)	16.3	16.9	16.1	16.1		13.5	19.5	18.1	17.0			
採水水深 (m) (GLより)	14.95	14.95	14.95	14.95		5.95	5.58	5.81	5.73			
分析結果					分析結果					*安定型最終処分場の浸透水の基準	地下水環境基準	
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析		
pH	5.9	5.8	6.0	6.0	5.9	5.2	5.1	5.6	5.1	5.3	—	
BOD (mg/L)	1.6	4.8	3.1	1.1	2.7	< 0.5	1.3	0.8	< 0.5	0.8	20mg/L	
COD (mg/L)	11	9.8	10	9.3	10	0.5	0.9	0.7	0.6	0.7	40mg/L	
SS (mg/L)	< 1.0	< 1.0	< 1.0	< 1.0	1.0	5.4	< 1.0	1.2	3.0	2.7	—	
EC (mS/m)	130	140	130	130	130	4.8	9.0	11	4.8	7.4	—	—
カドミウム (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.01mg/L	0.003mg/L
ヒ素 (mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L
ふっ素 (mg/L)	0.09	< 0.08	< 0.08	< 0.08	0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	0.08	—	0.8mg/L
ほう素 (mg/L)	0.4	0.2	0.3	0.5	0.4	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	0.1	—	1mg/L
鉛 (mg/L)	< 0.005	0.008	< 0.005	< 0.005	0.006	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L
総水銀 (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	0.0005mg/L	0.0005mg/L
PCB (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)
トリクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.03mg/L	0.01mg/L
テトラクロロエチレン (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	0.01mg/L	0.01mg/L
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.02mg/L	0.1mg/L
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.004	—	0.04mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.04mg/L	
トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	—	
ベンゼン (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.01mg/L	0.01mg/L
塩化ビニルモノマー (mg/L)	0.0014	0.0013	0.0017	0.0017	0.0015	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0002	—	0.002mg/L
1,4-ジオキサン (mg/L)	0.053	0.064	0.056	0.047	0.055	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	—	0.05mg/L
鉄 (mg/L)	0.21	0.36	0.19	0.09	0.21	0.17	0.05	0.05	0.10	0.09	—	—
マンガン (mg/L)	0.69	0.80	0.72	0.75	0.74	0.02	< 0.01	0.03	< 0.01	0.02	—	—
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.021	0.021	0.021	0.021	0.021	0.027	0.021	0.023	0.083	0.039	1pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L

※ pg : mgの十億分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

※ TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロジベンゾ[ghi]ペリチン)に換算した数値。

※ 採水方法 : 井戸孔内に長期間滞留した水を置換することを目的として、水中ポンプで井戸の孔内水量の4倍量程度汲み上げた後、水質(水温、pH、電気伝導度等)が安定したことを確認してからポンプにて必要量を採取した。

※ 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。なお、平成22年度まではペーラーで採水を実施していたが、採水時に孔内水が乱されることで井戸の底等に堆積した土壌粒子等が巻き上げられ、採水試料に混入することが避けられなかったため、0.45μmメンブランフィルターによりろ過を行い、そのろ液の分析結果を併せて掲載していたが、平成23年度より水中ポンプで採水を実施することで、土壌粒子等の混入を改善することができるようになったことから全量分析結果のみを掲載している。

※ 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。 pH、BOD、COD、SS、EC、鉄、マンガンは参考値。なお、PCBの年間平均値欄の値は、すべて「検出されないこと」をもって基準達成となるため、該当する値を表記し、評価した。

※ トリクロロエチレンは、平成26年11月16日まで地下水環境基準は0.03mg/L、平成26年11月17日からは0.01mg/L

資料4 分析結果（周辺地下水[Ks2層、その1]）

K s 2 層 地 下 水												
調査地点	H24-7					H24-6(2)						
採取日	H26. 6. 30	H26. 10. 2	H26. 12. 8	H27. 2. 20	年間平均値	H26. 6. 30	H26. 10. 2	H26. 12. 8	H27. 2. 20	年間平均値		
現場測定項目	Ks2+Ks1	Ks2+Ks1	Ks2+Ks1	Ks2+Ks1		Ks2	Ks2	Ks2	Ks2			
気温 (°C)	28.0	24.0	8.0	5.0		29.0	25.5	12.0	7.0			
水温 (°C)	18.8	17.7	17.3	17.3		18.9	19.0	18.8	17.9			
採水水深 (m) (GLより)	9.80	9.53	9.65	9.66		9.49	9.26	9.37	9.37			
	分析結果					分析結果					*安定型最終処分場の浸透水の基準	地下水環境基準
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析		
pH	6.4	6.4	6.4	6.4	6.4	5.3	5.7	5.3	5.4	5.4	—	
BOD (mg/L)	< 0.5	1.4	0.9	< 0.5	0.8	< 0.5	0.8	< 0.5	< 0.5	0.6	20mg/L	
COD (mg/L)	3.7	4.6	4.0	3.9	4.1	< 0.5	0.6	0.7	0.5	0.6	40mg/L	
SS (mg/L)	< 1.0	< 1.0	< 1.0	< 1.0	1.0	9.4	21	14	23	17	—	
EC (mS/m)	13	15	12	13	13	12	13	11	11	12	—	—
カドミウム (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.01mg/L	0.003mg/L
ヒ素 (mg/L)	0.011	0.013	0.018	0.012	0.014	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L
ふっ素 (mg/L)	< 0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	0.08	—	0.8mg/L
ほう素 (mg/L)	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	0.1	—	1mg/L
鉛 (mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L
総水銀 (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	0.0005mg/L	0.0005mg/L
PCB (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)
トリクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.03mg/L	0.01mg/L
テトラクロロエチレン (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	0.01mg/L	0.01mg/L
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.02mg/L	0.1mg/L
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.004	—	0.04mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.04mg/L	
トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	—	
ベンゼン (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.01mg/L	0.01mg/L
塩化ビニルモノマー (mg/L)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0002	—	0.002mg/L
1,4-ジオキサン (mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	—	0.05mg/L
鉄 (mg/L)	4.4	4.7	4.1	4.3	4.4	0.29	0.41	0.42	0.30	0.36	—	—
マンガン (mg/L)	0.42	0.39	0.39	0.34	0.39	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05	—	—
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.021	0.026	0.021	0.021	0.022	0.043	0.052	0.066	0.038	0.050	1pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L

※ pg : mgの十億分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

※ TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロジベンゾ[ア]イキシン)に換算した数値。

※ 採水方法 : 井戸孔内に長期間滞留した水を置換することを目的として、水中ポンプで井戸の孔内水量の4倍量程度汲み上げた後、水質(水温、pH、電気伝導度等)が安定したことを確認してからポンプにて必要量を採取した。

※ 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。なお、平成22年度まではペーラーで採水を実施していたが、採水時に孔内水が乱されることで井戸の底等に堆積した土壌粒子等が巻き上げられ、採水試料に混入することが避けられなかったため、0.45μmメンブランフィルターによりろ過を行い、そのろ液の分析結果を併せて掲載していたが、平成23年度より水中ポンプで採水を実施することで、土壌粒子等の混入を改善することができるようになったことから全量分析結果のみを掲載している。

※ 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。 pH、BOD、COD、SS、EC、鉄、マンガンは参考値。なお、PCBの年間平均値欄の値は、すべて「検出されないこと」をもって基準達成となるため、該当する値を表記し、評価した。

※ トリクロロエチレンは、平成26年11月16日まで地下水環境基準は0.03mg/L、平成26年11月17日からは0.01mg/L

資料5 分析結果（周辺地下水[Ks2層、その2]）

K s 2 層 地 下 水												
調査地点	H24-S2					No. 1						
採取日	H26. 6. 30	H26. 10. 2	H26. 12. 8	H27. 2. 20	年間平均値	H26. 6. 30	H26. 10. 2	H26. 12. 8	H27. 2. 20	年間平均値		
現場測定項目	Ks2	Ks2	Ks2	Ks2		Ks2	Ks2	Ks2	Ks2			
気温 (°C)	27.5	24.0	—	—		31.0	26.0	12.0	9.0			
水温 (°C)	19.5	18.7	—	—		21.3	21.7	21.0	21.5			
採水水深 (m) (GLより)	17.95	17.95	—	—		10.50	10.50	10.50	10.50			
分析項目	分析結果					分析結果					*安定型最終処分場の浸透水の基準	地下水環境基準
	全量分析	全量分析	採水不能	採水不能	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析		
pH	6.5	6.6	—	—	6.6	6.5	6.5	6.6	6.6	6.6	—	
BOD (mg/L)	1.0	2.1	—	—	1.6	< 0.5	1.6	1.7	0.5	1.1	20mg/L	
COD (mg/L)	6.9	7.7	—	—	7.3	16	15	14	14	15	40mg/L	
SS (mg/L)	25	22	—	—	24	36	52	50	81	55	—	
EC (mS/m)	71	75	—	—	73	150	140	140	170	150	—	—
カドミウム (mg/L)	< 0.001	< 0.001	—	—	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.01mg/L	0.003mg/L
ひ素 (mg/L)	0.016	0.016	—	—	0.016	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L
ふっ素 (mg/L)	< 0.08	< 0.08	—	—	0.08	< 0.08	0.09	0.12	0.09	0.10	—	0.8mg/L
ほう素 (mg/L)	0.1	0.1	—	—	0.1	1.2	1.1	1.3	1.3	1.2	—	1mg/L
鉛 (mg/L)	< 0.005	0.007	—	—	0.006	0.010	0.007	< 0.005	< 0.005	0.007	0.01mg/L	0.01mg/L
総水銀 (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	—	—	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	0.0005mg/L	0.0005mg/L
PCB (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	—	—	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)
トリクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	—	—	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.03mg/L	0.01mg/L
テトラクロロエチレン (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	—	—	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	0.01mg/L	0.01mg/L
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	—	—	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.02mg/L	0.1mg/L
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.004	< 0.004	—	—	0.004	0.006	0.004	0.005	< 0.004	0.005	—	0.04mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	—	—	0.002	0.004	0.002	0.003	< 0.002	0.003	0.04mg/L	
トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	—	—	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	—	
ベンゼン (mg/L)	< 0.001	< 0.001	—	—	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.01mg/L	0.01mg/L
塩化ビニルモノマー (mg/L)	< 0.0002	< 0.0002	—	—	0.0002	0.0013	0.0006	0.0015	0.0008	0.0011	—	0.002mg/L
1,4-ジオキサン (mg/L)	0.032	0.026	—	—	0.029	0.054	0.031	0.027	0.031	0.036	—	0.05mg/L
鉄 (mg/L)	10	11	—	—	11	25	28	27	24	26	—	—
マンガン (mg/L)	1.5	1.4	—	—	1.5	2.6	2.3	2.0	2.2	2.3	—	—
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.038	0.027	—	—	0.033	0.090	0.17	0.16	0.14	0.14	1pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L

※ pg : mgの十億分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

※ TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロジベンゾ[ア]イキシン)に換算した数値。

※ 採水方法 : 井戸孔内に長期間滞留した水を置換することを目的として、水中ポンプで井戸の孔内水量の4倍量程度汲み上げた後、水質(水温、pH、電気伝導度等)が安定したことを確認してからポンプにて必要量を採取した。

※ 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。なお、平成22年度まではペーラーで採水を実施していたが、採水時に孔内水が乱されることで井戸の底等に堆積した土壌粒子等が巻き上げられ、採水試料に混入することが避けられなかったため、0.45μmメンブランフィルターによりろ過を行い、そのろ液の分析結果を併せて掲載していたが、平成23年度より水中ポンプで採水を実施することで、土壌粒子等の混入を改善することができるようになったことから全量分析結果のみを掲載している。

※ 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。pH、BOD、COD、SS、EC、鉄、マンガンは参考値。なお、PCBの年間平均値欄の値は、すべて「検出されないこと」をもって基準達成となるため、該当する値を表記し、評価した。

※ トリクロロエチレンは、平成26年11月16日まで地下水環境基準は0.03mg/L、平成26年11月17日からは0.01mg/L

資料6 分析結果（周辺地下水[Ks2層、その3]）

K s 2 層 地 下 水												
調査地点	No.3-1					H24-2						
採取日	H26.6.30	H26.10.2	H26.12.8	H27.2.20	年間平均値	H26.6.30	H26.10.2	H26.12.8	H27.2.20	年間平均値		
現場測定項目	Ks2	Ks2	Ks2	Ks2		Ks2	Ks2	Ks2	Ks2			
気温 (°C)	23.0	23.0	6.5	6.0		25.5	22.5	8.0	8.5			
水温 (°C)	21.7	21.5	20.3	20.2		17.3	17.6	16.9	16.9			
採水水深 (m) (GLより)	13.38	13.19	13.28	13.27		25.30	25.30	25.30	25.30			
分析結果					分析結果					*安定型最終処分場の浸透水の基準	地下水環境基準	
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析		
pH	7.2	7.2	7.2	7.1	7.2	6.2	6.1	6.2	6.2	6.2	—	
BOD (mg/L)	1.7	12	8.1	1.7	5.9	< 0.5	1.4	0.8	< 0.5	0.8	20mg/L	
COD (mg/L)	13	16	13	15	14	7.3	7.6	7.1	6.6	7.2	40mg/L	
SS (mg/L)	11	11	11	16	12	1.3	27	1.8	1.6	7.9	—	
EC (mS/m)	170	190	180	220	190	110	110	110	110	110	—	—
カドミウム (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.01mg/L	0.003mg/L
ひ素 (mg/L)	0.016	0.017	0.022	0.015	0.018	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L
ふっ素 (mg/L)	0.52	0.45	0.49	0.52	0.50	< 0.08	0.08	< 0.08	< 0.08	0.08	—	0.8mg/L
ほう素 (mg/L)	1.2	1.1	1.4	1.2	1.2	0.6	0.7	0.8	0.9	0.8	—	1mg/L
鉛 (mg/L)	0.005	0.008	< 0.005	< 0.005	0.006	< 0.005	0.007	< 0.005	< 0.005	0.006	0.01mg/L	0.01mg/L
総水銀 (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	0.0005mg/L	0.0005mg/L
PCB (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)
トリクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.03mg/L	0.01mg/L
テトラクロロエチレン (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	0.01mg/L	0.01mg/L
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.02mg/L	0.1mg/L
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.004	0.010	0.009	0.012	0.007	0.010	—	0.04mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.008	0.007	0.010	0.005	0.008	0.04mg/L	
トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	—	
ベンゼン (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.01mg/L	0.01mg/L
塩化ビニルモノマー (mg/L)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0002	0.0042	0.0029	0.0053	0.0032	0.0039	—	0.002mg/L
1,4-ジオキサン (mg/L)	0.023	0.040	0.021	0.045	0.032	0.038	0.032	0.030	0.029	0.032	—	0.05mg/L
鉄 (mg/L)	3.0	3.5	3.1	4.1	3.4	1.4	2.2	1.1	0.93	1.4	—	—
マンガン (mg/L)	0.55	0.68	0.65	0.86	0.69	0.23	0.28	0.22	0.19	0.23	—	—
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.094	0.045	0.051	0.042	0.058	0.021	0.043	0.021	0.021	0.027	1pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L

※ pg : mgの十億分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

※ TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロジベンゾ[ghi]ペリチン)に換算した数値。

※ 採水方法 : 井戸孔内に長期間滞留した水を置換することを目的として、水中ポンプで井戸の孔内水量の4倍量程度汲み上げた後、水質(水温、pH、電気伝導度等)が安定したことを確認してからポンプにて必要量を採取した。

※ 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。なお、平成22年度まではペーラーで採水を実施していたが、採水時に孔内水が乱されることで井戸の底等に堆積した土壌粒子等が巻き上げられ、採水試料に混入することが避けられなかったため、0.45μmメンブランフィルターによりろ過を行い、そのろ液の分析結果を併せて掲載していたが、平成23年度より水中ポンプで採水を実施することで、土壌粒子等の混入を改善することができるようになったことから全量分析結果のみを掲載している。

※ 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。pH、BOD、COD、SS、EC、鉄、マンガンは参考値。なお、PCBの年間平均値欄の値は、すべて「検出されないこと」をもって基準達成となるため、該当する値を表記し、評価した。

※ トリクロロエチレンは、平成26年11月16日まで地下水環境基準は0.03mg/L、平成26年11月17日からは0.01mg/L

資料7 分析結果（周辺地下水[Ks2層、その4]、[Ks2+Ks3層最下流地下水]）

調査地点	K s 2層地下水					K s 2 + K s 3層最下流地下水						
	H24-4					No. K-1						
採取日	H26. 6. 30	H26. 10. 2	H26. 12. 8	H27. 2. 20	年間平均値	H26. 6. 30	H26. 10. 2	H26. 12. 8	H27. 2. 20	年間平均値		
現場測定項目	Ks2	Ks2	Ks2	Ks2		Ks2+Ks3	Ks2+Ks3	Ks2+Ks3	Ks2+Ks3			
気温 (°C)	23.0	24.0	7.0	5.0		28.2	23.0	8.0	6.0			
水温 (°C)	20.2	20.6	19.7	19.4		15.4	16.1	14.9	13.9			
採水水深 (m) (GLより)	19.50	19.50	19.50	19.50		-	-	-	-			
分析結果					分析結果					*安定型最終処分場の浸透水の基準	地下水環境基準	
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析		
pH	7.0	7.1	7.2	7.2	7.1	5.4	5.5	5.6	5.5	5.5	-	
BOD (mg/L)	1.2	5.8	2.5	1.6	2.8	< 0.5	1.5	1.0	0.6	0.9	20mg/L	
COD (mg/L)	16	14	11	11	13	8.9	9.0	8.7	8.6	8.8	40mg/L	
SS (mg/L)	5.2	2.9	5.8	< 1.0	3.7	5.8	8.1	4.7	3.8	5.6	-	
EC (mS/m)	190	180	170	170	180	84	87	90	99	90	-	-
カドミウム (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.01mg/L	0.003mg/L
ひ素 (mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L
ふっ素 (mg/L)	0.11	0.12	0.13	0.14	0.13	< 0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	0.08	-	0.8mg/L
ほう素 (mg/L)	1.4	1.3	1.4	1.3	1.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	-	1mg/L
鉛 (mg/L)	0.006	0.009	< 0.005	< 0.005	0.006	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L
総水銀 (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	0.0005mg/L	0.0005mg/L
PCB (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)
トリクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.03mg/L	0.01mg/L
テトラクロロエチレン (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	0.01mg/L	0.01mg/L
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.02mg/L	0.1mg/L
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.004	< 0.004	< 0.004	0.004	< 0.004	0.004	-	0.04mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	0.002	0.04mg/L	
トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	-	
ベンゼン (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.01mg/L	0.01mg/L
塩化ビニルモノマー (mg/L)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0002	0.0022	0.0013	0.0032	0.0017	0.0021	-	0.002mg/L
1,4-ジオキサン (mg/L)	0.036	0.026	0.029	0.027	0.030	0.034	0.027	0.024	0.030	0.029	-	0.05mg/L
鉄 (mg/L)	0.93	1.0	0.60	0.61	0.79	16	15	13	13	14	-	-
マンガン (mg/L)	6.3	5.1	4.1	3.7	4.8	0.75	0.67	0.58	0.63	0.66	-	-
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.023	0.036	0.022	0.025	0.027	0.025	0.024	0.023	0.022	0.024	1pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L

※ pg : mgの十億分の1 (1 pg=1,000,000,000分の1mg)

※ TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロジベンゾダイキシン)に換算した数値。

※ 採水方法 : 井戸孔内に長期間滞留した水を置換することを目的として、水中ポンプで井戸の孔内水量の4倍量程度汲み上げた後、水質(水温、pH、電気伝導度等)が安定したことを確認してからポンプにて必要量を採取した。

※ 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。なお、平成22年度まではペーラーで採水を実施していたが、採水時に孔内水が乱されることで井戸の底等に堆積した土壌粒子等が巻き上げられ、採水試料に混入することが避けられなかったため、0.45μmメンブランフィルターによりろ過を行い、そのろ液の分析結果を併せて掲載していたが、平成23年度より水中ポンプで採水を実施することで、土壌粒子等の混入を改善することができるようになったことから全量分析結果のみを掲載している。

※ 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。 pH、BOD、COD、SS、EC、鉄、マンガンは参考値。なお、PCBの年間平均値欄の値は、すべて「検出されないこと」をもって基準達成となるため、該当する値を表記し、評価した。

※ トリクロロエチレンは、平成26年11月16日まで地下水環境基準は0.03mg/L、平成26年11月17日からは0.01mg/L

資料8 分析結果（地下水確認調査〔Ks2層、その1〕）

地下水確認調査												
調査地点	No. 4-1					No. 1-1						
採取日	H26. 6. 30	H26. 10. 2	H26. 12. 8	H27. 2. 20	年間平均値	H26. 6. 30	H26. 10. 2	H26. 12. 8	H27. 2. 20	年間平均値		
現場測定項目	Ks2+Ks1	Ks2+Ks1	Ks2+Ks1	Ks2+Ks1		Ks2+Ks1	Ks2+Ks1	Ks2+Ks1	Ks2+Ks1			
気温 (°C)	27.0	25.0	9.0	6.0		28.0	24.0	8.0	6.5			
水温 (°C)	17.7	16.7	15.6	14.6		18.1	17.5	16.8	16.0			
採水水深 (m) (GLより)	19.24	19.01	19.12	19.13		14.24	14.00	14.08	14.11			
分析結果					分析結果						*安定型最終処分場の浸透水の基準	地下水環境基準
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析		
pH	5.8	5.8	5.8	5.7	5.8	5.9	6.0	6.0	6.1	6.0	—	
BOD (mg/L)	< 0.5	0.6	1.1	0.7	0.7	< 0.5	0.7	1.0	< 0.5	0.7	20mg/L	
COD (mg/L)	< 0.5	0.6	< 0.5	1.2	0.7	< 0.5	< 0.5	< 0.5	1.0	0.6	40mg/L	
SS (mg/L)	4.1	3.0	8.9	< 1.0	4.3	< 1.0	< 1.0	< 1.0	< 1.0	1.0	—	
EC (mS/m)	15	15	16	15	15	8.1	12	12	25	14	—	—
カドミウム (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.01mg/L	0.003mg/L
ヒ素 (mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L
ふっ素 (mg/L)	< 0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	0.08	—	0.8mg/L
ほう素 (mg/L)	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	0.1	—	1mg/L
鉛 (mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L
総水銀 (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	0.0005mg/L	0.0005mg/L
PCB (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)
トリクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.03mg/L	0.01mg/L
テトラクロロエチレン (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	0.01mg/L	0.01mg/L
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.02mg/L	0.1mg/L
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.004	—	0.04mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	0.04mg/L	
トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	—	
ベンゼン (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.01mg/L	0.01mg/L
塩化ビニルモノマー (mg/L)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0002	—	0.002mg/L
1,4-ジオキサン (mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	—	0.05mg/L
鉄 (mg/L)	0.27	0.17	0.14	0.12	0.18	0.03	0.04	0.05	0.06	0.05	—	—
マンガン (mg/L)	0.01	< 0.01	0.01	< 0.01	0.01	0.09	< 0.01	0.06	< 0.01	0.04	—	—
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.024	0.032	0.033	0.021	0.028	0.021	0.021	0.021	0.021	0.021	1pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L

※ pg : mgの十億分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

※ TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロジベンゾ「ダイキシン」)に換算した数値。

※ 採水方法 : 井戸孔内に長期間滞留した水を置換することを目的として、水中ポンプで井戸の孔内水量の4倍量程度汲み上げた後、水質(水温、pH、電気伝導度等)が安定したことを確認してからポンプにて必要量を採取した。

※ 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。なお、平成22年度まではペーラーで採水を実施していたが、採水時に孔内水が乱されることで井戸の底等に堆積した土壌粒子等が巻き上げられ、採水試料に混入することが避けられなかったため、0.45μmメンブランフィルターによりろ過を行い、そのろ液の分析結果を併せて掲載していたが、平成23年度より水中ポンプで採水を実施することで、土壌粒子等の混入を改善することができるようになったことから全量分析結果のみを掲載している。

※ 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。 pH、BOD、COD、SS、EC、鉄、マンガンは参考値。なお、PCBの年間平均値欄の値は、すべて「検出されないこと」をもって基準達成となるため、該当する値を表記し、評価した。

※ トリクロロエチレンは、平成26年11月16日まで地下水環境基準は0.03mg/L、平成26年11月17日からは0.01mg/L

資料9 分析結果（地下水確認調査[Ks2層、その2]）

地下水確認調査												
調査地点	No. 4-2					市No. 3						
採取日	H26. 6. 30	H26. 10. 2	H26. 12. 8	H27. 2. 20	年間平均値	H26. 6. 30	H26. 10. 2	H26. 12. 8	H27. 2. 20	年間平均値		
現場測定項目	Ks2	Ks2	Ks2	Ks2		Ks2	Ks2	Ks2	Ks2			
気温 (°C)	26.0	21.0	12.0	7.0		24.0	23.0	8.0	9.0			
水温 (°C)	16.3	16.2	15.2	14.8		14.4	17.3	14.1	13.7			
採水水深 (m) (GLより)	14.20	14.03	14.25	14.14		-	-	-	-			
分析結果					分析結果					*安定型最終処分場の浸透水の基準	地下水環境基準	
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析		
pH	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.3	6.4	6.6	6.4	6.4	-	-
BOD (mg/L)	< 0.5	0.5	0.5	< 0.5	0.5	-	-	-	-	-	20mg/L	-
COD (mg/L)	0.5	1.0	0.6	0.9	0.8	-	-	-	-	-	40mg/L	-
SS (mg/L)	< 1.0	1.2	< 1.0	< 1.0	1.1	< 1.0	< 1.0	1.0	1.6	1.2	-	-
EC (mS/m)	15	14	14	14	14	96	92	86	96	93	-	-
カドミウム (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	-	-	-	-	-	0.01mg/L	0.003mg/L
ヒ素 (mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	-	-	-	-	-	0.01mg/L	0.01mg/L
ふっ素 (mg/L)	< 0.08	< 0.08	< 0.08	< 0.08	0.08	-	-	-	-	-	-	0.8mg/L
ほう素 (mg/L)	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	1mg/L
鉛 (mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	-	-	-	-	-	0.01mg/L	0.01mg/L
総水銀 (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	0.0005mg/L	0.0005mg/L
PCB (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	-	-	-	-	-	検出されないこと (<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)
トリクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	-	-	-	-	-	0.03mg/L	0.01mg/L
テトラクロロエチレン (mg/L)	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.0005	-	-	-	-	-	0.01mg/L	0.01mg/L
1,1-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	-	-	-	-	-	0.02mg/L	0.1mg/L
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.004	-	-	-	-	-	-	0.04mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	-	-	-	-	-	0.04mg/L	-
トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	-	-	-	-	-	-	-
ベンゼン (mg/L)	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	-	-	-	-	-	0.01mg/L	0.01mg/L
塩化ビニルモノマー (mg/L)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0002	-	-	-	-	-	-	0.002mg/L
1,4-ジオキサン (mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	-	-	-	-	-	-	0.05mg/L
鉄 (mg/L)	0.13	0.39	0.06	0.05	0.16	-	-	-	-	-	-	-
マンガン (mg/L)	0.01	0.08	0.03	0.02	0.04	-	-	-	-	-	-	-
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.022	0.022	0.021	0.021	0.022	-	-	-	-	-	1pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L

※ pg : mgの十億分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

※ TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロジベンゾ「ダイキシン」)に換算した数値。

※ 採水方法 : 井戸孔内に長期間滞留した水を置換することを目的として、水中ポンプで井戸の孔内水量の4倍量程度汲み上げた後、水質(水温、pH、電気伝導度等)が安定したことを確認してからポンプにて必要量を採取した。

※ 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。なお、平成22年度まではペーラーで採水を実施していたが、採水時に孔内水が乱されることで井戸の底等に堆積した土壌粒子等が巻き上げられ、採水試料に混入することが避けられなかったため、0.45μmメンブランフィルターによりろ過を行い、そのろ液の分析結果を併せて掲載していたが、平成23年度より水中ポンプで採水を実施することで、土壌粒子等の混入を改善することができるようになったことから全量分析結果のみを掲載している。

※ 年間平均値 : 環境基準値に対する評価方法に基づき、検出値が定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、年平均値を求めている。pH、BOD、COD、SS、EC、鉄、マンガンは参考値。なお、PCBの年間平均値欄の値は、すべて「検出されないこと」をもって基準達成となるため、該当する値を表記し、評価した。

※ トリクロロエチレンは、平成26年11月16日まで地下水環境基準は0.03mg/L、平成26年11月17日からは0.01mg/L

資料10 分析結果（経堂池[中央部中層]）

経堂池水質調査								
調査地点	中央部					年間平均値		
採取日	H26. 7. 17	H26. 10. 17	H26. 12. 5	H27. 3. 2				
現場測定項目	中層	中層	中層	中層				
気温 (°C)	33.0	19.0	8.5	8.0				
水温 (°C)	28.7	18.0	8.8	8.1				
採水水深 (m) (水面より)	中層: 1.1 m	中層: 1.0 m	中層: 0.9 m	中層: 0.9 m				
分析結果							農業用水基準	水質環境基準
分析項目	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析	全量分析			
pH	7.6	7.4	7.6	8.1	7.7	6.0~7.5	—	
BOD (mg/L)	3.5	2.4	2.2	5.5	3.4	—	—	
COD (mg/L)	11	6.0	6.8	9.1	8.2	6mg/L	—	
SS (mg/L)	4.9	31	24	23	21	100mg/L	—	
EC (mS/m)	32	23	27	26	27	30mS/m	—	
ひ素 (mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	0.01mg/L	0.01mg/L	
ふっ素 (mg/L)	0.11	< 0.08	< 0.08	< 0.08	0.09	—	0.8mg/L	
ほう素 (mg/L)	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	0.1	—	1mg/L	
鉛 (mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	—	0.01mg/L	
1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.004	—	0.04mg/L	
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	—	—	
トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.002	—	—	
塩化ビニルモノマー (mg/L)	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.0002	—	0.002mg/L	
1,4-ジチサン (mg/L)	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.005	—	0.05mg/L	
ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)	0.030	0.26	0.20	0.29	0.20	—	1pg-TEQ/L	
全窒素 (mg/L)	0.65	0.70	0.57	0.96	0.72	1mg/L	—	
アンモニア性窒素 (mg/L)	< 0.05	0.06	< 0.05	< 0.05	0.05	—	—	
硝酸性窒素および亜硝酸性窒素 (mg/L)	< 0.01	0.07	0.08	0.12	0.07	—	10mg/L	
全りん (mg/L)	< 0.05	< 0.05	< 0.05	0.05	0.05	—	—	
りん酸態りん (mg/L)	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	0.05	—	—	
銅 (mg/L)	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	0.01	0.02mg/L	—	
亜鉛 (mg/L)	< 0.05	< 0.05	< 0.05	< 0.05	0.05	0.5mg/L	—	
蒸発残留物 (mg/L)	210	180	150	180	180	—	—	
塩化物イオン (mg/L)	9.9	4.0	5.8	6.1	6.5	—	—	

※ pg : mgの十億分の1 (1pg=1,000,000,000分の1mg)

※ TEQ : 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は異なっている。このため、異性体が混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロシベンゾダイオキシン)に換算した数値。

※ 採水方法 : バンドーン式採水器を用い、経堂池中央部において、水深(約2m)の中層1.0mの水を汲み上げた。

※ 分析方法 : 試料をろ過せず、採取時の濁りとともに全量を分析。

* 農業用水基準 : 農林水産省が学識経験者の意見も取り入れて、昭和45年3月に定めた基準で、法的拘束力はないが、水稻の正常な生育のために望ましいかんがい用水の指標として利用されている。